京城新聞

●妄言妄評　栗嶽生

▲對清外交　桂内閣は財政整理と對外政策刷新を標榜して起てり、財政整理は稍々緒に就きたるの觀あるも、對外政策は尙未だ刷新の曙光だに見へず、對外政策中最も重要なる對清政策の依然たるに至ては何人も浩歎せざるを得ず、惟ふに之れ小村外相の就任以來日尙は淺きが爲ならむ、今や清國の事情に精通し、外交の畧に富める伊集院氏公使となりて赴任せり、對清外交の面目を一新するも近にあらん、然るに何ぞ圖らむ、桂内閣の御用紙國民新聞辯じて曰く法庫門鐵道其他二三問題の如きは事理槪ね明白且格別の重大事件に非ず、對清外交の大局より見れば枝葉の問題也云々と、法庫門鐵道、撫順炭鑛問題等を除けば何等の問題ありや、要するに對清外交の刷新は之等の諸問題を解決し將來斯る問題の起らざる樣にせんが爲なり、御用辯護も玆に至て余りに拙劣なり、露骨に過ぎるの辯護は偶々反感を買ふに過ぎずして何等の効果なし、

▲淸韓共通　對淸外交の功拙如何は直に滿韓共通經營の上に大影響を來たす也、淸國の背後にある聲援を排除するは滿韓經營を成就する所以也、帝國の大陸經營を圓滿に發展せしむるには對淸外交に重きを置かざる可らず、而して淸國背後の勢力を打破せざる可らず、淸國政府をして傲慢ならしめ帝國に向て常に反抗の態度を採るは之あるが爲なり、稍もすれば極東の平和を紊さんとするものは此背後の勢力なり、帝國の大陸經營に支障を與ふるものは是なり、滿韓共通の經營は將さに對淸外交の刷新に俟たざる可らず、統監政治は大陸經營の一部分なり、大陸經營の進展を計れば滿韓經營の首腦を一にするの必要あるなり、然らば首腦は何れに置く可き乎、之れ抑も問題なり、

●外國貿易旬報

區別	本旬本年分	前年同期
輸出品價	三四四、八六二	四五一、三〇九
輸入品價	一、四二三、八二五	一、四一〇、四一三
合計	一、七六八、六九七	一、八六二、七二三
輸入超過		

本年貿易額の港別左の如し

港別	本旬分 輸出額	輸入額	計
仁川	四四、〇四四	四四五、〇六五	四八九、一一九
釜山	七四、八六八	二八九、四二七	三六四、二九五
元山	三〇、四一六	一七二、五二一	二〇三、九一七
鎮南浦	一一四、五一五	一二四、二九二	二三八、八〇七
京城		一三五、八〇九	一三五、八〇九
群山	一六、二八五	三九、七四八	五六、〇三三
木浦	一三、九〇一	一六、六五三	三〇、五五三
馬山浦	八、八〇五	一三、五〇六	二二、三一一
清津	七、七二七	三二、四四九	三二、一八六
城津	九、七五三	一八、一六三	二七、九一五
新義州	三、五四九	一二六、二二三	一四七、七六二
計	三四四、八六二	一、四二三、八二五	一、七六八、七〇八

次に本年各港の貿易額を前年同期に比すれば左の如し

港別	前年一月以降本月迄の累計 輸出額	輸入額	計
仁川	二、七二九、五二〇	一五、一八三、〇二五	一七、九〇二、五四五
釜山	二、九八〇、九五一	六、三八一、二七五	九、三六二、二二六
元山	八四八、六五四	二、二五七、五三四	三、一〇六、一八八
鎮南浦	一、二三四、四四八	二、八七九、四三〇	四、一一三、八七八
京城	三、〇九九	七二〇、〇〇八	七二三、一〇七
群山	一、三一一、四四三	五七一、四四二	一、八八二、八八五
木浦	一、〇〇三、九六九	五〇二、三三七	一、五〇六、三〇六
馬山浦	三二二、八八三	五九四、八九一	九一七、七七四
清津	—	—	—
城津	一七四、七四一	一九七、〇〇四	三七一、七四五
新義州	四二二、三八九	五五六、六六七	九七九、〇五六
計	一〇、九三〇、〇八七	二九、九四三、六六三	四〇、八七三、七五〇

讀者文壇

●寄宿舍の記（五）　かへで生

眼覺む、五時半なり、聖堂の鐘十ばかりで止む、前の長屋の勝手元には、カタリとも人の氣配あらず、アヽ寢心地よき今日此頃の朝よ、寢ねよ〳〵よ、人は寢て暮すが上乘の策なるぞよと思ひぬ。

夜五時に歸舍せり。

エー、ケーの二君、碁をやるのだから、室を貸せと、碁盤を抱へて迫る。

パチリ〳〵りと始まりぬ、黑進めば白攻め兩々相抗する十數分、中々に勝敗決せず、エー君の時々首を捻つて、苦聲を發するに反し、ケー君自若として、スパリ〳〵りと烟草を喫ふ。

第一戰エー君の敗となる、斯くして二目又三目と、數回の白戰黑鬪、何時もエー君の不利に歸せり、コヽ最後の決戰、エー君全力を盡して戰ひしも、脆くもケー君にしてやられたり、エー君總に再び起つの勇なくしてスゴ〳〵と室に歸る、ケー君呵々大笑して、悠々と去れり、時に十時なりき。（十月一日の夜）

（○文苑）

秋風吟　山水

秋に入る夜の空遠く星飛んで
都大路の風ぞ身に泌む
九德路や空荷の驛馬の暮急ぐ
鈴の音より秋風ぞ立つ
暮れかゝる秋の小山に山茶花の
花散るあたり野墓二ツ四ツ
澄みかへる海に對馬の影見ねで
大空涼し今朝の神風
漢城の四門に通ふ秋風や
李氏五百年山河猶在り

俳句

白露吟集

三印

閉された屈子の門や神の留主　松花
渡海して物懲くや神の留主　栂子
山寺や幽迦桶に入る初紅葉　同
紫衣輕き紅葉の里や菩智識　香霧
是れ透いて水流待き紅葉かな　湖東
山一つ越して紅葉の名所かな　香霧
紅葉見や一棹投して水烟り　田柿
一人子を旅立たせ見やゝ寒み　栂子
やゝ寒く帽子の塵を拂ひけり　同

五印

引退のこゝろ安さや神送り　栂子
山彥に猿をききて紅葉かな　可醉
遠山は雲にかすみて夕紅葉　湖東
鬼蔦や闇白殿の古舘　栂子
壁一重蔦を境の山家かな　香霧
草の香を拾てゝ洗ふや落水　湖東
昨日今日紅塵の巷やゝ寒し　香霧
無爲の人三寒殊に感深し　同
赤葉こそ散るか小蔦の峽道　同
黄空十里實りは重し落水　龍水
落水や夕日をはがす湖は空　田柿
小穢ごる手や三國に露時雨　松花
寸尺の[illegible]縮ひぬ露時雨　田柿

待兼ねた新酒の蓋や醉ふ祭　松花
露時雨三思の後の語り草　香霧
杯盤の席を避くれば露時雨　田柿
峠路や上り三里を露時雨　栂子
走り酒一盃に醉し其角哉　田柿
心とけておとがひ解て新酒哉　可醉
戒の心も解けて新酒かな　香霧

（四十）　河合柳葉

我家に歸つた山川は、莞爾々々しながら、
「お君、まあ些とお出、急に相談爲なくちやならない事が出來たんだ。」
「然う、甚麼相談なの。」
云ひつゝ、お君は山川の傍へひたりと坐た。
「イヤ外の事ぢやあないが、例の一件だがね、今日お前も知つてる通り宇治の若殿が來て、侯爵が是非お前を妾に爲たいと云ふから承諾して下れるやうにと云ふ話だから、此方は固より其れを目的に脚色だ狂言だから、へい宜しうございます、然ほど御懇望とありや差上げませうが、しかし差上る代りには私も共に屋敷へお連れを願ひますと申込むだのだ、左も右もそれは承知さすから頼むと云ふ事で、あゝして一緒に侯爵の宿へ往つた所が直樣面會して斯樣々々と云ふ談話の末、いよ〳〵お前を妾に差上げる代り東京に歸る時は私も一緒に屋敷へ連れ歸へると云ふ約束が成立つたのだ、すると侯爵の手からお前の支度料と、我への酒肴料と二つの封を下れたのだ、歸る路すがら開いて見ると、有繋は華族だ、お前の支度料が五百兩、私への酒肴料が五十圓、合計五百五十圓の金子を下されたよ。」
云ひつゝ奉書紙に大水引を掛けた封二つを取出した。
お君は少し驚き顔に、
「いくら私が役者になつて働かうとは云つたものゝ、いよ〳〵那樣相談が極るのなら一寸位潤かして下すつても宜いぢやありませんか、人形でも遣るやうに隨分お手輕なお話は、何分どうかお手柔かにお願ひ申しますよ。ホヽヽ」
「まあ、それはそれとして、私は昨夜の樣子で大抵宜からうと思ひましたけれど、這麼に早く運ばうとは夢にも思はなくつてよ、華族の若樣なんて云ふものは、眞個まだ世慣れないのね。」
「しかし、それほどぢやあるまいと思つたが、眞個お前は然ういふ事に掛けちや宜い腕だね、華族の坊樣でなくても、お前の其の愛らしい眼で媚子ありげに眺められた上に變な素振でもされやうものなら、大抵な野郎はピク〳〵と電氣に打たれて正体なした、眞個私も然う早く事が運ぶとは思はな
「油を掛けるも宜い加減になさいよ、人馬鹿馬鹿しい、それは然うと何時から往くのか、それはまだ極らないの。」
「大極りさ、今日から五日目に往く筈になつたんだ。」
「今日から五日目に、大層早いことね。」
「御前は今日からでも欲しいのだが、色々準備もあらうからと、家扶の取扱ひで五日目と云ふ事になつたのだ。」
「本當に華族なんて助倍な…のね、いけ好かない。」
「てな事を云つても、坊樣らしい所が氣に入つて、私を邪魔者にして宇治川なんぞは御免蒙むるよ。アハヽヽ」
「冗談ぢやありませんよ、私が好き好むで行くんぢやあるまいし、これも皆な貴方のために可厭ながら行くんぢやありませんか可愛相だと察して下さいな。」

廣告

シガー・ブドウ酒・ブランデー・洋菓子・果物カン詰類
シガレツト・シヤンピン・ウヰスキー・キリンビール・タンサン水
卸小賣
雜貨　洋酒　食料品
直輸入商
京城本町二丁目
辻屋
本店　電話二四八番
支店　電話三六六番

阪谷男歡迎會

歐米巡遊を了はられ歸途當地に立寄らる、前大藏大臣法學博士阪谷男爵の爲來十七日正午十二時日本人倶樂部に於て本協會の歡迎會を相開き候に就ては會員諸君は萬障御繰合御出席相成度謹で貴得意候也

追白會員外の御方にても當日出席御希望の向は來る十六日までに其旨日本人倶樂部内幹事へ御申込有之度候
會費金三圓當日御持參の事

韓國經濟協會
幹事長　市原盛宏

公告

第十三師團歸還ニ付送別ノ爲メ南山公園ニ於テ本月二十日午後二時園遊會相催候間御贊成ノ方ハ來ル十九日マデニ會費金貳圓ヲ添ヘ京城居留民團役所ヘ申込レタシ
明治四十一年十月十二日
京城居留民團民長　熊谷頼太郎

▲無料紹介欄▼

人事部

●被雇度　旅館料理店又は商店の帳場に雇はれ度し其他余り勞力を要せぬ事何にても宜し保證人あり　姓名在社（四四）

●普通學教師を望む　某專門學校出身者午前中或は夜間學校教師を望む就中英語簿記に通ず　姓名在社（四五）

●年二十四教育有簿記精通商店經驗有午後自四時朝九時迄執務如何を不論執務し度し可成家庭的書生等望　姓名在社（四六）

●被雇度　年廿三才にして普通教育有商業の經驗も有會社又は通勤商店員に雇はれたし　姓名在社（五〇）

●被雇度　簿記學全科を修め銀行業に從事せし事十年銀行會社に雇はれたし　姓名在社（五二）

●女雇人　容姿普通十四才以上廿六歳以下女至急入用、依望、學問及琴曲を習得せしむ、給料面談　南山町三の九六　琴曲教場伊東

●毎日曜日を除き毎夜午後八時より[illegible]英語を教授す月謝壹圓束脩を要せす　の出町百十八番　英學塾（五四）

●新聞社の校正係又は外交員を希望年三十五元刑事且つ活版事業に經驗ある者　姓名在社（五八）

●看護婦至急入用　明治町一丁目　松岡醫院

●求婚　本年二十八月收八十圓血正伴健十八九の良家の淑女と結婚したし　氏名在社（六七）

●外交係入用　市内保證人あるもの本人直接來談を乞ふ　南山町二の一七三慶商工組合事務所（六七）

●弟子入用　但し十四五歳のもの　氏名在社（六八）

●求婚　年廿六血統正係累無月收五十圓容姿不問廿歳前後体健血正の女子と結婚したし　氏名在社（七〇）

京城又は附近にて豆粕の製造所又は販賣所あらば御知らせを乞ふ　氏名在社（七一）

●被雇度　朝九時より午後三時迄の間雇はれたし給金不望年十九保證人あり　氏名在社（七二）

●林田君に告ぐ御照會の下女は既に就職しました（係）

熊本縣人　松田仁三郎氏　至急面會致したし　社内　矢ノ島

●配達夫數名入用　希望者は至急申込あれ　本社營業部

●當地に夜間八時頃より劍舞教授所あらば本欄まで御通知を乞ふ　エム生（七三）

物件部

●雲母產地　至急買入たし　氏名在社（六六）

●從來開業中の處突然歸國の不得已に付醫療機械藥品及び患者付の儘にて至急讓渡したし　姓名在社（四七）

●古本　買入れたし　本町七丁目　秋田屋（四九）

●蓄音機　讓たし但附屬品付二個あり　社内　坂

電話　至急買たし　社内　鳥村（五七）

●貸地　古市町韓國畜產株式會社近傍約六十坪　古市町九番戶　小縣（五五）

●旭町一丁目通溫突十五間地所附（但七十坪）安價に讓りたし　姓名在社（六十）

●貸家

六疊二間四疊一間永樂町　高燥にて井水潔　氏名在社（六二）

●貸間　本欄人事部に御答申すオントル一間疊貳枚敷餘り庭園尤雅にして閑靜詳細は御來談を乞ふ永樂町佛國教會裏山田（六三）

●古着道具買たし本町七丁目一六號賀（六四）

●貸地　旭町一丁目の山の手にて風景絶佳の土地家屋附にて讓りたし御望みの御方は御來談を乞ふ　姓名在社（七〇）

▲流行の▲ 新柄ゑり地帯あげ其他種々
取揃へ店頭へ陳列致置候 御散歩間御觀被下度候
京城明治町一丁目
龜屋德商店

京城新聞

阪谷男を歡迎す

阪谷男爵閣下、閣下は西園寺内閣の大藏大臣として戰後經營の大任を負ひ、着々緩急の計畫を進められ、既に其効績の擧りたるもの多しと雖も、昨歲偶ま豫算の按排に就て閣僚との議合はざる爲に臺閣を勇退せられ、當時識者は好箇の大藏大臣を逸したりとて閣下の勇退を惜みたりき、然るに閣下は世界漫遊の好機を得たりとなし、飄然として長途の旅程に上られたり、閣下の心事は眞に光風霽月の如し、漫遊久しく歐米の政界に於て得易からざる政治家なり、歸途に依て中歐を觀察し、滿洲各地の實況を視察し、更に韓半島をも視察せられんとし、既に義州平壤南浦開城の實況を擧て入城せられたり、閣下の精透なる經濟は能く韓半島經營に資する適切なる方策を得せらるゝや明なり、閣下今次の世界漫遊は帝國の爲に資する所大なるべく、韓國經營の上にも多大の便宜を得べく、余輩が茲に閣下を歡迎する所以も亦茲に存するなり

聞く閣下歸朝の上は桂内閣の大藏大臣たるべしと、桂内閣は成立の當時より大藏大臣の適任者を欠く、故に桂首相兼攝の下に財政の整理をなしつゝ早晩專任大臣を置かざる可らず、桂首相も之が採擇は非常に苦心せられたるべきも、容易に適任者を得ずして終に閣下を以て之に擬し其歸朝の日を俟てりと、果して事實なるや否を知らざるも、此際に於て適任者を求むれば閣下は最も適任の一人也、而して閣下が此際再び大藏大臣たる事が閣下の爲めに幸なるべきや否やは知る可らざるも、帝國財政の難局に當ることは最も手腕を發揮するの機會と云はざるを得ず、閣下今後の進退は如何、

方今帝國の財政に通曉するものを求むれば恐らく閣下の右に出るものなからん、帝國の大藏大臣として最も適任者ならん、然れども余輩が閣下を敬慕する所以のものは、其人格の清廉にして其操行の方正なるにあり、財務を處理する辣腕家を求めば閣下に優るものあらん、されど其品性に至りて當今の政治家中閣下の如き清廉なるものなし、閣下は此點に於て全く出色あり、滔々たる汚濁腐敗の政治家と同一視すべからず、閣下は個人としても圓滿方正の紳士なり、之れ閣下が世に敬重せらるゝ所以ならん乎、閣下は帝國の經濟界に於けるオーソリチーなり、帝國に於て最も經濟に盡力せられたるは故田口卯吉氏なり、閣下は日本經濟に於ても學理と實地を兼ねたる所なり、大藏大臣の激職にあるときに於ても率先して之に盡せられし如き、如何なる場合にも終始一貫此道に盡されたるに到りて敬慕を禁ぜざるを得す、

韓國經濟協會は此際閣下に禀請して有益なる一場の談話を聴かんとす、閣下に於ても必ずや其禀請を容れられて其成得せられたる新智識を分與せらるべしと思ふ、

閣下請ふ余輩が熱誠の歡迎と禀請とを諒察せよ、若し往々無禮に流るゝ幸に寛恕する所あれ

東京電報

●三重丸船員の特赦

ニコライスクにて死刑の宣告を受けたる三重丸船員六名は露國皇帝より特赦の御沙汰ありたり

●條約改正準備會

平田東助井上勝之助二氏は條約改正準備委員會副委員長に安廣伴一郎石井菊次郎倉知鐵吉荻原守一外十四氏同會委員に命ぜらる(以上十三日發)

雜報

●阪谷男の着京

歐米漫遊の歸途にある前大藏大臣阪谷芳郎男は既記の如く昨日京義線列車にて平壤を發し途中開城を視察し午後十時二十分南大門驛に着せられ鍋島侯爵を始め文武高等官吏銀行員有志家及韓國側各大臣本邦各官吏等の出迎を受け直に入城せられたり

●漁業法施行期日

韓國漁業法の近々發布せらる可き事は既報の如くなるが此と共に現行水產稅則を改正するの必要あれば目下之が調査制定に多少の時日を要するを以て漁業法の施行は明春に至る事となすべしと云ふ

●京釜鐵償還方法

京釜鐵道買收代償公債二千餘萬圓に對する元利金償還は韓國政府より……金を以て之に充つ……及び價格維持に就き其の均衡を保たしむると共に所有者に迷惑をかけざる方針なりと聞く

●吉長線協約開始期

吉長線の協約に關しては阿部代理公使と清國外務部との間に大体の方針を締結せられたるが同理事は京奉線の連絡細目の協定を終へたる後直ちに北京に赴き清國郵傳部鐵路總局長梁士詒氏と商議する筈なりと

●韓國稅關增設

韓國稅關規定の不備なるが故に稅關の數少きが爲密貿易盛んに行はれ清國との密貿易の如き年々數百萬圓に達せるを以て韓國政府にては明年度豫算に於て更に十數箇所に稅關を增設すると同時に其の規定を改正し以て關稅收益を增加する方針なりと

●釜山棧橋工事

釜山港に於ける大棧橋建設に就ては稅關工事部に於て設計中なりしが今回神戸川崎造船所と稅關工事部との間に契約成立したりと同棧橋は全部鋼鐵製にて竣工期は向ふ一ヶ年にして之が工費は二十一万圓なりと云ふ

●拓殖會社定款(續)

第八章 計算

第七十六條 本會社の營業年度は每年四月一日より始り翌年三月三十一日に終る

第七十七條 本會社は當該年度の總益金中より同年度の諸般利息と營業費及諸般損失金等を除きたる殘額に日本國政府の補給金を併加したる者を以て利益とす

第七十八條 本會社の利益金は左の方法に依り此を處分す

一、利益の百分の八以上 缺損補塡準備金
二、利益の百分の二以上 配當平均準備金
三、利益の百分の十以下 役員賞與金及交際費
四、利益中より前三號の金額を除きたる殘餘額は此を株主に配當し且翌年度の繰越金とす

第七十九條 本會社は設立登記の日より起算して八個年を限り日本國政府より每年金三十萬圓の補給金を受くるものとす每營業年度に利益配當率が拂納資本額に對し年率八分比例を超過する時は其超過額に相當なる金額を補給金より控除す

第八十條 利益配當率が拂納資本額に對し年一割(十一條)比例を超過する時は其超過額は先づ此に前條補給金の償還に充つ前項の償還を終了したる時は該超過額の半額を特別積立金となす

第八十一條 本會社は日韓兩國政府の認可を受たる後にあらざれば利益金を處分することを得す

第八十二條 利益金は五月一日現在の株主名簿に依りて株主に此を支拂ふものとす此の拂納したる株金額に對しては現に拂納を擧りたる翌月より起算して利益金の配當額を算出す配當金の支拂期日及場所は總裁此れを定め株主に通知す

第九章 附則

第八十三條 本會社に地方委員を置くことを得

地方委員は總裁此を囑託して其員數と報酬金は總裁此を定む

第八十四條 本會社の負擔に歸する設立費用は金七萬圓を以て限度とす

前條の金額中政府立換金に關する者は此を政府に返納す

本定款は日本國東洋拓殖株式會社法並韓國東洋拓殖株式會社法を遵守し明治四十一年九月二十九日隆熙二年九月二十五日東京に於て此を作成す

東洋拓殖株式會社設立委員長
同 設立委員

●慰勞金下賜

韓皇帝には去る二日水原行幸の慰勞として掌禮院官吏へ金百圓を下賜されたれば同院官吏は之を以て紀念品を製する筈なりと

●離宮營造費の徵求

太皇帝には曾て平壤に離宮を建設せらるゝ筈にて之れが費用として數十萬圓を支出せられたるが時の宮內大臣たる閔泳吉は此費金を携帶して上海に移住したるを以て太皇帝よりは嚴きに其金額を徵收する爲め李範奎を差遣せられたるも閔は之を返納せざりしとの說あり

●赤十字總會確定

赤十字社韓國總委員部總會には本社より特に總裁閑院宮殿下の令旨を奉じて代表者の臨場ある筈なるが其期日は本月三十一日(土曜日)にして會場は設備等の都合により慶熙宮(西大門內)營內なりと

●京城居留民會

居留民會議員は既に確定したるを以て熊谷民長は來る二十一日午後五時より議會を召集し改撰第一回民會を開き議長副議長以下の役員撰擧をなす筈なり

●仁川議員選擧結果

一昨日施行されたる仁川民團議員撰擧の結果左の諸氏當撰せり

三百六十二	加來榮太郎
三百六十	沖津戸十郎
三百	慶田利吉
二百八十二	稻田勝彥
二百八十二	加藤藤太郎
二百七十八	木塚常三郎
二百六十九	額原修一郎
二百六十七	八田利三郎
二百五十	今井忠雄
二百三十七	加瀨和三郎
二百十一	中野秀雄
二百二	伊東武彥
二百二	青木一藥
二百	田中佐七郎
百九十八	平山松太郎
百八十四	小笠原忠一
百八十三	桑野良太郎
百七十一	奥田貞次郎
百六十八	市川武吉
百六十六	竹田津三平

次點者左の如し

百六十三	樋口平吾
百五十九	清水岩吉
百五十七	藤井濟太郎
百四十八	力武平八
百三十五	高田常三郎
百三十四	湯原尙志
百三十四	久野勝平

●登錄に關する出願心得

發明意匠は各種產業の發達進步の先驅にして商標は商業競爭上攻守共に缺くべからざる武器たる著作は又學藝美術の精華にして文運開發の要件なり此故に諸國何れも之が保護の制度を設け產業並に文運の進步を計らざるものなし今や韓國に於ても前きに發布せられたる韓國特許令意匠令商標令及著作權令により之が保護の途を全きを得商工業並に著作者の權利擁護せらるゝに至りたるを以て之が爲め韓國向後の產業並に文運進步の上に少なからざる功果あるべきは疑を入れず人或は韓國の現狀に照し發明意匠商標及著作物の保護の如き尙ほ甚早きを唱ふるものあるべしと雖も之が只だ發明意匠著作と云ふが如き言の大なるより直に文明國の獨占物なるが如く想像し偉大なる電氣機械の發明高貴なる裝飾品の意匠深遠なる學術文學の著作にあらざれば發明意匠或は著作と云ふべからざるが如く思考するの誤なり發明と云ひ意匠と云ひ著作と云ふも固より時代の必要に伴ふて生ずるものにして其國の文化の程度に比例すべきものなれば時と場所とにより自から高下の差あるは元より言を俟たず韓國の如き幼稚未開の地にありては衣食住の日常生活品より各種の產業に使用すべき機械器具等に至るまで多くは此の不便且つ無趣味の物のみにして其改良を要さゝるもの殆んど稀なり斯の如き狀態に於ては一見卑近なる工夫考案と雖も便宜有益なるもの及趣味ある意匠等は厚く之を保護し以て發明者新案者には其勞力に酬ゆる爲め之によりて生ずる利益の獨占を認め更に進んで有望なる工夫考案を爲さしむるは文化開發の階梯として最も必要の事なり況んや今後邦人の新事業を起すもの多きに從ひ斬新なる機械器具の需要次第に多かるべきに於てをや著作に付きても亦然り商標に至りては發明意匠等とは性質上稍々趣きを異にすと雖も商工業者が自已の商品を表彰するものに使用する目標にして購買者をして一見直に自已の商品と他人の商品とを識別せしむべき標章なるを以て商品の販路を開拓擴張せんとする商業者の爲めに新に各自獨得の商標を定めて之を專用し或は既に使用し來れる商標使用の權利を確保するの途を設け徒らに奸商の侵害を崇むることを無からしむるは商業の保護獎勵上最も必要の事なり特許意匠商標及著作物保護の制度の設けられたるは上記の理由に外ならず此法規を活用し其利益に浴せんとする當業者の爲めに出願手續を通俗に略記して參考に供することゝなすべし(未完)

●鍋島侯爵歡迎會

既報の如く京城在住の佐賀縣人は十三日目下滯京中なる舊佐賀藩主鍋島侯爵同夫人同直映氏を日本人俱樂部に招待して歡迎會を開きたり來會者は牟田少將、志波大佐、藤崎獸醫正、家永少佐、山邊、安住兩法部書記官、中牟田山本兩技師關繁太郎其他同縣出身の官民七十餘名にして前門にはアーチを設け絕へず花火奏樂等を催して歡を添へたるが主賓侯爵一行は午後二時三十分車を列ねて來場し一同紀念の撮影をなしたる後妓生の舞曲を觀覽に供し次いで食堂に入り牟田少將一同を代表し我々は遠く母國を離れたる此地に於て一行の歡迎をなすを光榮とす顧れば我鍋島家の祖先直茂公は三百年前既に韓國に渡られたる事あり現に侯爵令嗣直映氏は韓國農事經營のため永らく京城に在留せられ其他縣人の在留者は二千五百を超へ居る狀態にて佐賀縣と韓國の關係は頗る密接なり故に我々は將來益此關係を深くし韓國に於ける佐賀縣人の事業を發達せしめん事を期し居れるか今回舊藩主の來遊は在留縣人をして大に感奮せしむるに力ありこの意味に於て歡迎の辭を述べ當日來臨の榮を得たるを謝したるに侯爵は直に起つて最も鄭重なる言葉を用ひ今日の歡迎を謝する旨を答へられ其より食卓に就き靜肅なる間に和氣靄々十分の歡を盡し食後又妓生の舞曲を見午後四時三十分頃散會したり猶侯爵は土產として金三百圓を佐賀縣鄕友會に寄附せりと

●青年會第三回講演會

豫定の如く去る十二日午后七時半より日本商業會議所樓上に於て開會同會者岡田榮氏講師は學部次官俵孫一東京青山學院長本多庸一の兩氏にして俵氏は韓國に於ける現今の教育狀態を綿密なる統計材料により又韓人現今の教育施設に對し抱懷せる觀念を擧げ懇切に說明せられ本多氏は人格談と題し現今の社會的缺陷を指摘して人格修養の必要なるを說明し一進して如何にせば修養を爲し得るかとの難問を平易に解說せられ共に在韓邦人の最も研究せんとする處を遺憾なく講說せられたり而して當夜の傍聽者は百七十餘名なりし

●討賊彙報

黃海道新溪守備隊の大尉以下六名は九月二十日新羅西方申洞にて約拾五の賊を討ち其四を殪し銃器三其他雜品若干を鹵獲す▲同守備隊の少尉以下名は九月二十日西部澤仁里西南部街里附近にて約十の賊を討ち其五を殪し火繩銃其他雜品若干を鹵獲す▲江原道襄陽憲兵所の憲兵一補助員三は九月二十五日三附近にて金京西の指揮する約卅の賊を攻擊し金以下九を殪し銃器七雜品若干を鹵獲す▲黃海道海州馬山齊丹憲兵分遣所の憲兵補助員十四より編成する共同搜索隊は六日延安郡蟾隧面院禹補附近にて三十と衝突其二を殪し銃器一を鹵獲す同隊は十月五日新村附近にて李根守の率ゆる四の賊と交戰し其四を殪し銃器三雜品を鹵獲す▲江原道大和憲兵分遣所憲兵補助員三は十月二日大和郡大利面雲橋附近にて二十五の賊を攻擊し其四を殪し彈藥若干を鹵獲す▲平安南道孟山憲兵分遣所兵は十月六日孟山郡鶴田面附近にて五の賊と衝突し其三を殪し一を捕へ銃器を鹵獲す

○九月中鐵道旅客數

鐵道管理局に扱たる旅客數九月中日本行の分二千三十四人一日平均七十九人手荷物三千三十五個一日平均七十八個渡鮮の分二千五十四人一日平均九十八人手荷物三千五十五個一日平均百五個なり

●平賀博士の來韓

韓國工業[illegible]たる工學博士平賀義美氏は農商工部大臣の招きにより來る二十日頃渡韓し十日間在の筈

●獨領事の地方視察

獨逸國總領事代理ウエンチエ氏は本週末日より約一週間の豫定にて平安南北道地方視察に赴くなりと

●學部大臣の出發

南韓地方の學事視察を了へて歸京したる李學部大臣は更に平安南北道及び黃海道の一部視察のため出發せしが往復約二週間の豫定なり

公人私人

▲石丸志都磨(步兵第十三聯隊附大尉) 三日入京浦尾旅館
▲香月清司(同上中尉) 同上
▲川上消吉(同上大尉) 同上
▲林彌三吉(同上) 原金旅館
▲永島巖(平壤控訴院長) 十三日出京天眞樓
▲高松豐吉(工學博士) 十三日來京天眞樓
▲內藤游(東京英語技師) 同上
▲內山彌左衛門(發明技師) 同上
▲本田幸介(水原模範場長) 十三日出京
▲渡邊龍吉(步兵第二十三聯隊附少尉) 十三日下城
▲成瀬勝蔵(憲兵隊附二等主計) 十三日下仁
▲藤原保次郎(同三等主計) 同上
▲遠藤篤三郎(同上) 釜山へ向け出發
▲志村義熊(神奈川縣技師) 同上
▲齋藤不二三(同縣會議員) 同上
▲菊池主殿(步兵第十四聯隊長) 十三日大邱へ歸任

●近事片々

[illegible]

特別廣告

長らく待たせしました。此十七日から病院を開きます。廣くコンモリと茂つた森が、南大門通の直ぐ北に高く聳へて見ゆるのが夫れです。名の通り婦人の病氣ほか診ませぬ。成可く午前にお出下さい。御事情では施療も致します。日曜は研究の日ですから御許を願ひたい。

京城北米倉町(元英人ホッジー氏邸)
京城婦人病院
ドクトル メヂチーネ　工藤武城

短篇小說　舊友(十)　靑楓作

社會に生を享けたる以上、社會に對する義務は之を果さねばなるまい、活きんが爲めに働くのか、働かんがために生れ來たのか、今は念頭におくべき問題ではない、貴女が真心をこめたるが爲め、薄命の女子を救ひ出した藤枝さんが爲めに、再び活きたる社會に奮鬪せねばならぬのじや、働くべし、働くべし、此の身をヨボにして、ヨボ連と共に働かうと、細田は、斷乎として決心した

「村田君、僕は復活するよ、夫人さん、色々と御心配をかけました。」

「復活。じや藤枝さんの方も承諾してくれたのですか。」

「まア、本統に嬉しいわ。」

村田夫妻は、非常に喜んだのである。

「夫人さん、復活したからには、僕も働きます。空想の社會を脫して、活きた社會に働きます。」

「藤枝さんも、如何程にお喜びでせう、早く知らして上げたいわ」

[illegible]やつて藤枝さんは、喜んで承諾して下さつたものゝ、細田樣は僕は厭ですと仰有りはしまいか、萬一さうなつたら妾如何しませう、藤枝さんに面目ないわ、それはかりか藤枝さんは其落膽なさるでせうと、車に乘つてから今がさきまでも、獨り胸を痛めて居たのであつた、それが今細田の承諾を聞いたのであるから、雪子の喜びは又格別であつた。

「細田君、僕は君が復活の一言にヤッと安心が出來る。」

「全く心配をかけて濟まなかつた。」

長い秋の夜も、いつか更闌けて、冷めたい身に一入身に沁みる頃、酒宴は滿悅と歡喜の聲の間に仕舞はれた。

舊友が熱心に復活した細田と藤枝との結婚式は、其後親友なる村田を撰んで、親友なる村田の宅で行はれた、そして細田は、間もなく村田の家を去つて藤枝の家に移轉つた、同時に吉築なる小さき名刺は、筆太の細田宮の標札と代つた、冷たいそして寂しかつた藤枝の家にも、暇に團欒たる笑ひ聲を聞くやうになつたのである、細田は村田の周旋で某社の記者となつたが、社務の旁ら目下「復活」なる小說に執筆して居るとのことである。(完)

●西部署長の諭達　一昨日西部署に於て管內の妓生二十三名酒幕酌婦五十名を呼び出し鈴木署長より妓生娼妓團束令に就て懇々と說き聞かせ爾來は嚴に警察の命令通り營業をなすやう言ひ渡したり

●龍岩浦の初霜　一昨日仁川觀測所に達したる報告に依れば本月八日龍岩浦に初霜あり之を昨年に比すれば同日にして平年よりは三日晚しと云ふ

●美人の行き倒れ　一昨日午前七時三十分頃南大門驛詰合巡査が同構內を巡視しつゝありしに、一人の婦人黑髮を亂したるまゝ下俯むいて倒れ居るにぞ早速抱き起して手當を加へしが女は福岡縣鞍手郡直方町淺井アイ(三三)といふものにて豫て脚氣を病ひ步行困難なりしも當日は國許より當地に來るものあるにより出迎の爲め停車場迄來りしが俄かに息はづみ足痺れて終に人事不省となり其のまゝ卒倒せしものなりと云ふ

●高等官の誤發展　旭町は山手に寄りたる所に旅館を兼ねたる高等下宿あり、こゝに今年五十の坂を越した白髮混りのデップリと肥ね太りたる品良き男下宿し居れるが此男身分の程は却々に豪く金筋佩劍嚴めしく每朝朝鮮側の某官衙に出勤する高等官の中でも取り分け羽振りよく時に半白の髯を捻つてウンさうかと頷かるゝ口のきゝ振りさへ何うやら斯ら重々しく威嚴何となく犯し難き風情あるもサテ斯程の男でも色の道に掛けては別と見ねソレに每夜燭の疑の闇中轉たら淋しき所から近頃は自義主義の崇拜者となり遊廓から料理屋への御出向きも却々に繁くスッカリ若返りしが其の實此の男何うい ふ都合か金使がケチにて何所へ行つても女に好かれず振られて許り居るので心中甚だ平かならず何とかして金を使はずに女を自由にする法はあるまいものかと沈思默考した揚句ツンあるゝと許りに獨り合點した名案といふは他にあらず同家の下女にて今年二十八なる愛嬌者のおくにとかいふが幸ひ自分の部屋を受け持つて居るので此の女ならば總ての要領を得るに相違なしと或る時ソレとなく小當りに當つて見た所案外成效したので爾來は節なつゝけ追つ付け船板塀に見越の松の寸法月六圓の外に風呂錢四錢づゝを與へて情交通りの家へ圍まつてやるからとの男の言葉なりとかいふを近所の嗅左衞門から誤親切

巷のいろいろ

▲醉ひ倒れ　若草町一丁目大工職鳥居留藏は豫て學部內の建築を請負ひ工事に着手しつゝありしが一昨日棟上式を擧げたので仲間の者四五人と祝ひ酒を酌み交はし大に醉つ拂つたはよきも總て足腰の起たぬ迄にヘトヘトとなり歸途終に竹洞通りで醉ひ倒れて了つたので巡査の厄介となり醉が醒めてから放還されたり

▲電車の脫線　一昨日午前十時三十分龍山發の電車が今しも南大門に差し掛らんとするとき圖らずも線路に故障起りしため突然脫線し二十五分間停車後進行をつゞけたるが幸ひ乘客には何等の怪我なかりしとは結構々々

▲不埒な支那人　頃日西部阿峴靑坡方面に何者が捨つるにや塵芥山の如く堆積し近所のものゝ迷惑一方ならざるより所轄巡査は怠りなく警戒し居りし所一昨日午後四時頃二名の支那人が荷車に塵芥を積みセッセと何れへか曳き行くを認めたれば巡査は隙さず引き捕へ訊問したるに支那人は終に包み切れず白狀せしかば巡査は以後を戒め放還しやりたり

▲警察の前で立小便　北部紫霞洞內官白樂善方雇人金龍鎭(三十)なるものは一昨日午後三時頃大膽にも西部警察署の門前にて立小便をなし居る所を硝子越しに見て居つた巡査の爲めにふん摑まへられ散々れ目玉を頂戴して引き下りたり

▲行路病者　一昨日午後五時頃南大門內米倉町米國人技師カプーン方の邸內に行路病者ありとのことに巡査出張取り調べたる所右は龍山鐵道官舍成田某方止宿福岡縣平民大津秀造(二五)と判り早速戶田病院へ收容したり

▲故なく人を毆る　舊王城內新宮商行雇大工吉田重太郎(三十八)は一昨日午後四時頃若草町十番地先きにて泥醉の揚句通行人の下村菊藏なるものを毆打したる廉により五十錢の科料に處せられたり

商店のぞき

御存知の筈なり商品は雜貨文房具卸しもすれば小賣りもする兩刀使ひの清潤併香切らしましたと客に斷るやうな間拔な挨拶は開店以來只の一回もたれなきとか、主人は働く一方の律義者自ら法衣姿で店頭に強ん張り客の應接商の魂膽旁々店員の督勵等にホッと息をつく暇もなく二六時中斷解として商賣に勉強し專ら店運の隆盛を期せんことに熱中せるさまはマヅ當世には珍らしき方なるべし店員は總勢九名何れも主人の意を躰して忠實に働き未だ曾て陰口にても主人の不平がましき言葉を漏らしたることなしとはさもあるべきことなるべし

▲林呉服店▼　同店は明治三十四年の開業に係り爾來八ヶ年強ち手前味噌の編り文句にはあらねども勉強と確實と叮嚀と安價とで今日迄押し通せし結果現今にては得意先きも殖え顧客亦店前に絕へたることなくマヅ泥峴筋の呉服屋中にては頭株の方なるべし品物は言ふ迄もなく豐富にして且つ種類多ければ金目の注文なら何んでも持つて來いといふ豪氣な所が此の店の異彩なり尚ほ同店は近々業務擴張の爲め全然改築し大々的に營業を爲す由場所は本町五丁目なり

▲秋山呉服店▼　店舖は本町一丁目郵便局前元の若林呉服店の跡なり主人は申すに及ばず店員一同が大車輪の勉強は見るゝ中に店の繁昌を來し總に今日にては數多き幾多の呉服屋中五本の指に數へらるゝに至りぬ品物は至つて豐富にてソレに流行を趁ふ新柄珍柄の種類一として取り揃へあらざるなく加ふるに直段は此特約廉價なるを以て店頭常に顧客の絕ゆることなし殊に蒲團は此の店の本舖にて呉服商といふよりは蒲團商といつた方が早判りするやうな必ずし番頭小僧何れも丁寧にて且つ愛嬌のある所が此の店の特色なるべし

▲篠崎雜貨商▼　本町一丁目の篠崎商店といへば知る人ぞ知る知らざる人も新聞の廣告で屋號丈は先刻[illegible]

(平)(民)(文)(庫)

▲仁川から新聞記者が三人當選した今年は新聞記者の當り年だと見ねるマヅ〳〵結構(　)▲蜂松は何役をさせても器用にコナスが口席が些と惡い(孝不孝)▲郵便局前の藥屋の若旦那頭が高いと商賣は淋れるよ(望遠鏡)▲龜屋商店の近頃の店飾りは大に振つて居る(伊藤組の車夫)▲旭町日の出湯の水は良いさうだ勿體ペッ嬪となるとサ(勇み肌)▲もし美人投票をするとなら僕は本町六丁目の靴屋の娘を投票する(六號活字)▲吉野湯の娘番臺で居眠りは見つともないゼ(加藤清正)▲日韓瓦斯會社が出來たら電氣會社は面喰ふだらう(竹公)▲本町坐の前の梅林といふ壽司屋は評判が善くないぞ善くしてやらうか(日の丸生)▲松葉は勉強だソシで客にシツコクない(鴨南蠻)▲開進亭の金時は近頃娼賣が忙はしいと見ね三味線は暫く手にせないさうだ(世話燒)▲

●丸京の冬物賣出し　本町四丁目杉本呉服店にては冬物の新柄荷揃せしを以て同店得意の均一法にて去る十二日より一割引にて大賣出を開始せるが非常の好人氣なる由

●櫻井時計店の大安賣　當地明治町一丁目なる同店にては今般最新流行の新荷到着せしを以て大破價の安價にて賣出し殊に玉振時計の如きは二圓八十圓にて發賣し尤も機械の堅牢なるは勿論一々確實なる保險證を附し居るよしなり

西洋御料理　寶亭
京城五十八銀行橫通

僕は大々的京城の家賃引き下げ論を喚起しやうと思ふ(受付)▲靑木堂の大將いつもながらの御勉強は感心〳〵(立番巡査)▲警察の小使はアレは押丁を兼ねて居るのださうだ道理で威張つてらア(巡査辨當運搬人)▲長篇小說を揭げて頂きたいが如何でせう(南山生)▲御厚意は謝します兎も角原稿を送つて下さい(係り)▲一時間に一斗五升を炊く釜が出來たさうだ泥峴街あたりの商店で購入したら何うです(七三ごん)▲魚友痴史に告ぐ豫て承はりし所に新聞を配達せんとせしも場所不明なれば今一應詳しくお知らせを乞ふ(配達人)

毎日種痘
南山町二丁目　植村病院　電話三三〇番

天氣豫報(自十四日午後六時至十五日午後六時)

南又は東の風曇但し少雨

十四日午前六時各地氣象概況　各地概ね靜穩なれども朝鮮海峽沿岸は北東の和疾風吹き一般に曇天なり

廣告

貸地參千坪
龍山新梨太院(新道路に沿)
右土地は兵營並官舍に接し且西氷庫、判官街道の變狹點なると京龍へ往來の咽喉なるを以て將來必須の要地至極割安に貸附す
京城古市町　電話八八番　小縣四一

○梅毒○淋病專門
○眼科○外科
龍山老松町　十字病院
院長　醫科大學選科得業　望月憲磨

★GbS 土耳古煙草直輸入卸小賣
本品ハ特ニ原料ヲ精選シテ製シ特色ノ風味香氣ヲ有シ最モ高尚ナル飲料ニシテ來客用ニ適セリ
明治町壹丁目　ジーデーシエリス會社
出張所　エムジーシエリス

●●●破天荒の大安賣●●●
華客諸彥平素の御愛顧に酬ゆるため今般最新流行品の着荷御披露をかね大々的奮發をなし破天荒の安價を以て相働き可申候特に玉振時計は金貳圓八拾錢にて發賣仕候尤も本品は機械の堅牢なるは勿論一々確實なる保險證を相添へ申候
●破天荒の大安賣●
明治町壹丁目　櫻井時計店

開彩
▲第卅九　大連次頭彩金壹萬圓　新曆十月十五日　舊曆九月二十一日
▲第廿三　安徽次頭彩銀壹萬圓　新曆十月十一日　舊曆九月十七日
▲第八十一　湖北次頭彩銀五萬圓　新曆十月十八日　舊曆九月廿四日
▲第廿二　江南次頭彩銀四萬圓　新曆十月七日　舊曆九月十三日

定價
大連全紙金壹圓參拾錢
安徽全紙金壹圓貳十錢
湖北全紙金七圓五十錢(小切八十錢即チ十分ノ一)
江南全紙金七圓(小切七十五錢)即チ十分ノ一
湖北彩票根價便宜從の改正
確賞發主如遠隔地方御購求希望者御贈金並書留信料添贈急速御用命通可贈付不誤賞金
京城銅峴十八銀行通
西洋雜貨、洋酒、食料品
各國煙草、洋菓子、化粧品
洋反物、毛氈、各式毛布
支那緞子、紋繻子、繭紬類
各國更紗、彩票每月販賣仕候
御小賣商
同順泰本店
仁川港支那町八番戶
群山同順泰支店

新築落成御披露
(營業種目)
●貨物運送
●危險擔保付運送
●貨物運送取扱
●稅關貨物取扱人

韓國京城南大門驛前
內國通運株式會社京城支店(電話七〇八番)
仁川驛前　同　仁川出張所(電話五一一番)
草梁驛前
釜山驛前　同　釜山出張所(電話六一六番)(電話五三七番)
龍山驛構內　同　龍山派出所(電話二〇六番)
本社所在地　東京日本橋區佐內町三番地
●資本金壹百貳拾五萬圓　●諸積立金五十四萬四千六百圓
●支店出張所荷扱所七十九店　●取引店壹千貳百〇四店

土耳古金口煙草G.D.インペリアル各種
京城代理店　歐米雜貨商
京城本町六丁目
(吉)岡野商店　電話(五七一番)

落語 一ツ穴（四）

橘屋圓喬口演

權「何を……
妻「先の家を……
權「夫りやア俺知らねへや
權「乃公ア知らねへよ
妻「知らないつたつて毎日御供に付て往くぢやア無いか……
權「付て行くには違へ無へがノ……
妻「御供に往て先方を知らない譯は無いぢやア無いか
權「尾て行たつても知ねへョ分らねへなア
妻「分らないと云つたつて何んの爲に行んだョ
權「何んの爲だつて跡から尾て行くだアな
妻「跡から尾て行くからいつてさうなものぢやア無いか妙だね
權「先方まで行かねへもの
妻「おやア跡から跟行てつて先方まで往た事は無いのかい
權「途中で歸るんだ
妻「奈是さ
權「檀那樣ア途中で消ちまつてテッコに負へねへノー序でだから話し打つだけんど過日も檀那の供を爲て行きますと兩國の廣い通り……ソラ何んとか云やしたつけねへ
妻「廣小路かい
權「ウム廣小路……那邊まで行くと權助此書を知つてるか……何んでげす是は日清戰爭だつてへからヲツ魂消て見て居ると何時の間にか何所へ行くか檀那ア消ちまつたい
妻「夫やア和郎が阿房だもの
權「ナーニさ檀那が疾足だもの
妻「詮方が無いねへ三度に一度は見て來ない事もあるまいけれども……此金やア權助や少ないけれども此金で何んか買つて御喰よ
權「貰つちやア濟ねへノー……此りやア難有う存し升（包みを開け）ヤー五十錢あり升ね……
妻「好いぢやア無いか
權「五十錢なんかつて何買て喰るんだか知らねへけんど濟ましねへナ貰つて置きますいゝか給金は別でがせうね
妻「何給金で差引くもんかね其代り賴んで置くよ今度は乾度先方まで尾て往て御呉れよ
權「モー斯う成りやア先方まで尾て行ます
妻「然うして先方を知らして呉れ、賴むヨ……ソラ檀那樣が御歸りだ那方へ早くれ
（見世へ出で）「檀那樣御歸んなさいまし
妻「オヤ御歸り遊ばせ
檀「ハイ唯今……
妻「早く那方へ行きなョ
檀「何んだつて權助を居間へ入れるんだい
妻「ナニ……今掃除を爲せましたもんですから……

辻Ⓜ屋

新流行冬物荷揃ひ

景品總額千五百圓也

開店十五週年紀念

景品付大賣出し
福引券進呈

▲空籤一本もなし多少に拘らず悉く景物差上可申候

▲金三圓毎に福引券壹枚つゝ進呈可仕候

等	金額	景品
一等	金百圓	公債證書
二等	金五十圓	毛ブトン
三等	金三十五圓	革トロンク
四等	金二十圓	白毛布
五等	金十七圓	金張トランク
六等	金十五圓	佛國ブドウ酒一打
七等	金十圓	大曲呉服券
八等	金十圓	山口呉服券
九等	金十圓	山枝呉服券
十等	金十圓	丸京呉服券
十一等	金十圓	三越呉服券
十二等	金十圓	惠阪呉服券
十三等	金十圓	末永呉服券
十四等	金十圓	日韓書房商品券
十五等	金十圓	荻原靴店商品券
十六等	金十圓	はりまや下駄店商品券
十七等	金十圓	池田雜貨店商品券
十八等	金十圓	亀屋商品券
十九等	金十圓	藤木商品券
二十等	金十圓	四ヶ所商品券
二十一等	金十圓	山邑櫻正宗酒券
二十二等	金十圓	松屋商品券
二十三等	金十圓	青木堂商品券
二十四等	金十圓	明治屋商品券
二二四八等	金十五圓	生ブドウ酒一打
三三六六等	金十二圓	生ブドウ酒一打
六七四等	金十圓	生ブドウ酒一打
以下	省略ス	

◉商品切手金壹圓より發行す

賣出期間 自四十一年十一月一日 至同 十一月五日

抽籤日 十一月十日 辻屋本店に於て公會す

辻屋本店 京城本町二丁目 電話二四八番

辻屋支店 京城本町三丁目 電話三六六番

直輸入卸小賣

辻屋商品概目

●西洋雜貨 ●洋酒食料品 ●金銀屬美術品 ●寶石類 ●葉卷烟草 ●埃及烟草 ●洋菓子類 ●キリンビール ●小野水 ●蓄音器 外ニ嶄新音譜各種其他

●佛國ボールドー府メルマン葡萄酒釀造會社韓國代理店
●佛國ボールドー府ハートマン葡萄酒釀造會社韓國代理店
●佛國ブールゴン市シヨニチン葡萄酒釀造會社韓國代現店
●東京三光堂蓄音機韓國代理店
●キリンビール韓國特約店

今回合意上左官同業組合事務所ご關係を斷ち專心一意諸般の代書測量事務に從事す

明治大學出身
增本好三郎事務所
京城本町一丁目(民團役所前)

新荷着

營業品目

歐米雜貨類
銃器火藥類
敷物類
洋家具一切

サッポロ ビース アサヒ エビス 麥酒特約販賣

仁川本町一丁目 藤木利右衛門 電話四〇番
京城南大門通二丁目角 藤木支店 電話五八三番

明治四十一年十月

▲會員募集廣告▼

京城農商工組合事務所
韓國京城南山町貳ノ壹七參
會員ハ日韓兩國人ニ限ル
入會志望者ハ此際至急御申込ミ相成度
(入會趣意書並ニ規約書ヲ無料送呈ス)

特製無煙煉炭
用途 火付善く火力耐久價格低廉 汽鑵、暖爐、竈用に適す
周防德山海軍省煉炭所東隣
谷口無煙煉炭工場
韓國一手販賣 京城太平町二丁目 神田組

特約販賣自製

漬物 味噌 醬油 製造元

大上商店

京城本町五丁目 (電話二五一番)

和洋酒、◎精酎、穀物麵類銘茶、罐詰、乾物荒物食料雜貨、ビール特約販賣

詳細なる營業品目録及び寸法用紙御用の節は御一報次第御送呈す

流行の變形靴 甲革材料は柔軟にして丈夫なるクローム製Aボックスカーフ

金四円八十錢 ●代金引換小包に應ず

御注文の節は御足を紙の上に踏み其の周圍を鉛筆にて直に筋を引き御足の實形を取り御送り下さるか又は御常用の日本足袋文數御通知の事

東京市芝區愛宕下町 龜田靴商店
電話新橋三四〇二番 振替貯金口座四三六番

東京 生そば
東京生蕎麥開業廣告
並に天麩羅、蒲燒 ほねぬきどぜう 御料理仕出し
南山町三丁目 天金

軍隊用
ビスケット 寶來豆 萬歳豆 八ツ橋
京城南大門外吉野町 塚本甘泉堂

高等 御旅館 澤田館
親切と叮嚀さを旨とし調理方にも萬端注意して御扱申候間一層御愛顧の程奉希上候
南山町一丁目

齒科開業御披露
齒術も時間朝八時より夜十時迄技術は最も叮嚀親切を主とす
當分御披露として現價の三割引を申受く
京城旭町壹丁目五十四番戶 齊藤齒科專門

太物洋反 綿類蒲團
ⓐ 秋山商店
京城郵便局前 電話一七六番

純良 牛乳
元祖 平山牧場
京城大和町一丁目 電話百三十三番

運輸の要は殊に責任を重んじ誠實にして敏活なるに在り
宗島運送店 永登浦驛前 電話二番

日本郵船株式會社 仁川出帆廣告
貨物及船客取扱店
仁川海岸通 郡回漕會 電話三九番
京城南大門通 巴商店 電話三〇六番

●釜山長崎門司神戸行 山東丸 月 日 後三時出
●大連、大沽、牛莊行 高砂丸 十月 日 後一時出 山東丸 十月 日 前五時出
●大連、大沽、牛莊行 酒田丸 十月十五日 後一時出
●釜山出帆、元山清津、浦鹽行 立神丸 月 日
●新潟丸 十月日正午 大連行

御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ船解纜ノ事

●新聞料 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月金拾參錢
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回四十錢▲…
發行兼編輯人 秋山忠三郎
印刷人 高木久馬太郎
發行所 京城新聞社